

平成29年度 丹後広域振興局 運営目標

運営目標		進捗区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因理由)
1	観光入込客数660万人、観光客一人当たり消費額6千円を目指し、海の京都DMOとの連携により、四季を通じて「ほんもの」を楽しめるブランド地域づくりを進めるなど、「海の京都」で芽吹いた丹後の新たな魅力を開花させます。 (29年度目標:一人あたり観光消費額4,000円(28年度実績 2,971円))		
達成手段 (数値目標)	① 丹後産農林水産物のブランド価値を高めるとともに、海の京都DMOと連携して、食を中心とした丹後の魅力を展開します。 ・四季を通じた旬の食材を選定、旬の食材提供店の発掘・発信及びネットワークの形成 ・選定食材数 4品(29年度新規)> ・旬の食材提供店)店舗数 30店舗(29年度新規)> ・こだわりの産品を組み合わせた「海の京都セレクションボックス」の開発数 ・目標 3組(29年度新規)>	○	選定食材数 15品(375%) 旬の食材提供店認定 36店舗(120% 延べ73店舗) 海の京都セレクションボックス開発数 1組(33%) 【未達成の要因・理由】 参加予定事業者の廃業等による
	② 「海の京都」の新たな魅力を全国に発信します。 ・「海の京都クルージングフェスタ」の開催 <来場者数 2万人(29年度新規)> ・クルーズ船寄港に伴うオプションツアー誘致の実施 <丹後管内へのオプションツアー数 10ツアー(29年度新規)> ・海外からの教育旅行受入のためのファミトリップ等の実施 <ファミトリップ2回(28年度実績 2回)、ツアー1回(28年度実績 0回)> ・京都市内ホテルコンシェルジュと連携した誘客の推進 <訪問宿泊施設数 15施設(28年度 12施設)> ・京都市内からの直通バス(天橋立伊根ライナー)の定期運行化(試行4~5月) ・丹後歴史文化博物館(仮称)の基本計画(案)に基づき、今後の事業展開について地元市町、住民等の参画を得て議論 ・丹後郷土資料館において、丹後の歴史的魅力を紹介する特別展・企画展の開催 <5回(28年度 5回)> ・丹後郷土資料館において、茅葺き住宅での銭づくりや糸つむぎなど、文化体験事業の企画立案及び試行 <2回(28年度 3回)>	○	「海の京都クルージングフェスタ」来場者数 19,300人(97%) クルーズ船寄港に伴うオプションツアー 12ツアー(120%) 海外からの教育旅行受入 ファムトリップ2回、ツアー1回(100%) 京都市内ホテルコンシェルジュ訪問宿泊施設数 10施設(66%) 【未達成の要因・理由】 台風による被害により、秋以降の地元受入体制が不透明となり、積極的な売り込みを控えたため 天橋立伊根ライナーの定期運行化(7/29~10/1) 「丹後歴史文化博物館(仮称)」について、地元意見聴取会議を開催 1回 特別展・企画展の開催 5回(100%) 文化財事業の企画立案及び試行 0回(0%) 【未達成の要因・理由】 大雪や台風により延期・中止のため スポーツ・アクティビティ団体等ネットワーク参加事業者 6団体(120%) TANTANロングライド参加者数 1,583人(98%)(申込者数1,705人) 碓高原牧場観光客数26,030人(79%) 【未達成の要因・理由】 平成29年9月の台風18号災害により道路の不通が続いていたほか、今冬は積雪量が多く通行が困難な日が多かったため 碓高原牧場体験学習受入418人(105%)
	③ 地域住民による「スポーツ」を通じた観光客受入れを促進します。 ・スポーツ・アクティビティ団体・事業者間のネットワークづくり <5団体(29年度新規)> 地域の特性をいかしたスポーツ観光の聖地づくりやそれらを通じたまちづくりを推進します。 ・<TANTANロングライド参加者数 1,600人(28年度実績 1,527人)> 海が見える牧場「碓高原牧場」を観光資源として活用します。 ・<観光客数 33,000人(28年度実績 29,670人)> ・<園児、児童、学生の畜産体験学習の受入 400人(28年度実績 383人)>	○	<大宮峰山ICアクセス道路> 国府市の連絡調整会議 3回開催(100%) H29.10.25都計変更説明会開催、H29.11.9 京丹後市都計審議会開催(100%) 田井大垣自転車道(北部医療センター裏から溝尻)の舗装修繕完了(100%) JR西日本等と連携した広域周遊コースの設定 イベント列車の運行 5回 延べ59人参加(1回中止)(83%) 【未達成の要因・理由】 想定していたターゲット層への周知不足

運営目標		進捗区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因理由)
2	丹後産コシヒカリの特A評価を奪還するとともに、競争力のある「ほんまもん京ブランド」品目の農作物出荷額4億円を目指すなど、丹後の強みを生かした産品を増強します。		
達成手段 (数値目標)	① 丹後産コシヒカリの特A評価の奪還と、これを実現させるため産地全体の技術の底上げを行います。 ・丹後産コシヒカリの特A評価の奪還 ・良食味共励会出品の食味値80以上の割合 <80%(28年度実績 82%)>	△	A評価 【未達成の要因・理由】 高温で出穂がバラついたことや、籾の充実期には、日照不足で充実した米にならず、食味がやや劣ったため 良食味目標達成者 77.8%(97.3%)
	② 京のブランド産品(青果物)の生産拡大を推進します。 ・年間出荷額 <4億円(28年度実績 3.8億円)> ・京たんご梨ブランド出荷率 <32%(28年度実績 20%)> ・梨の新品種である「凜夏」「早優利」の消費者、生産者に向けたPR活動 <2回(29年度新規)> ・加工用キャベツの出荷時期拡大に向けた品種の選定 ・黒大豆枝豆の京夏ずきん、紫ずきんの出荷調整技術の確立による面積の拡大 <15ha(28年度実績 13.8ha)>	△	年間出荷額 3.2億円(87%) 京たんご梨ブランド出荷率 11.2%(35%) 【未達成の要因・理由】 8月の日照不足により、ブランド品の基準となる糖度(11.5度)に達しない梨が増加したため ナシPR活動消費者向け1回、生産者向け2回、計3回実施(150%) 加工用キャベツの12月出荷用を選定(100%) 京夏ずきん、紫ずきんの栽培面積13.9ha(92.6%)
	③ 酒米品種「祝」「京の輝き」について、酒造業界からの要望数量を満たすよう生産します。 <作付面積 [祝]67ha(28年度実績 67ha) [京の輝き]202ha(28年度実績 175ha)> <生産量 [祝]240t(28年度実績 230t) [京の輝き]1,000t(28年度実績 973t)> <酒蔵と酒米生産者との交流会の開催 2回(29年度新規)>	○	作付面積 [祝]69.7ha(104%) [京の輝き]180.6ha(89%) 生産量 [祝]261t(113%) [京の輝き]978t(98%) 酒蔵と酒米生産者との交流会 2回(100%)
	④ ブランド水産物の生産拡大と「丹後とり貝増産プロジェクト」の推進に取り組みます。 ・「丹後とり貝」「丹後ぐじ」「育成岩がき」の販売総額(中丹後を含む) <255百万円(28年度実績 215百万円)> ・高鮮度サワラ(特選京鱈)の出荷量の拡大 <50t(28年度実績 43.4t)>	△	丹後とり貝等販売総額 152百万円 (60%) 【丹後とり貝80.9、丹後ぐじ23.8、育成岩がき47.3】 【未達成の要因・理由】 ・丹後とり貝販売額の低下(餌不足に伴う成長不良等による生産減) 高鮮度サワラ出荷量 92.7トン (185%)
3	地域一体となって丹後の食の魅力の戦略的PRや地域ブランディングを進めます。		
達成手段 (数値目標)	① 「丹後といえば、美味しいものを食べに行きところ！」のイメージ定着に向け、関係団体や事業者と連携し、食の魅力づくりを推進します。 ・食の祭典「丹後グルメフェスティバル(東京・京丹後市)」を開催 <丹後王国「食のみやこ」来場者数 50,000人(28年度実績33,650人)(再掲)> <東京での丹後の農林水産物、風景、歴史、文化を発信> <地元の新しい旬の食材提供店等丹後の食のスポットを発信> ・丹後の地酒魅力発信 <都市部において地酒の販促活動を展開 2回(28年度実績 1回)> <丹後の地酒と丹後フルーツなどを使ったオリジナルカクテルの開発を支援 3メニュー(29年度新規)>	○	食の祭典「丹後グルメフェスティバル」開催 ・丹後王国「食のみやこ」来場者数(10月、3月) 9,539人(19%) 【未達成の要因・理由】 ・グルメフェスティバル開催日は、一日中雨模様となったため。 ・丹後グルメフェアin東京 1/30実施 ・旬の食材提供店等丹後の食のスポットを発信済 丹後の地酒魅力発信 ・都市部での販促活動 実績2回(100%) ・オリジナルカクテルの開発支援 3メニュー(100%)
	② 丹後の食を都市圏の大型商業施設でPR・販促することによりブランディングを推進します。 ・「丹後うまいもんフェア」等の開催 <10回(28年度実績 10回)>	◎	丹後うまいもんフェアの開催 11回(110%) (11会場で延べ51日間開催)
	③ お茶の京都を支える丹後産茶の6次産業化による経営強化、知名度向上に向けたPR活動を推進します。 <売上高 800万円(28年度実績 727万円)>	◎	売上高 1,178万円(147%)

運営目標		進捗区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因理由)
4	TPPの影響を受けない高級牛肉を産出する和牛子牛の生産拡大を推進します。		
達成手段 (数値目標)	① 子牛の育成、和牛受精卵の供給を推進するとともに、丹後産和牛子牛の生産拡大と府内肥育農家の良質な和牛肉生産を支援します。 <子牛出荷頭数 70頭(28年度実績 66頭)> <子牛生産頭数 70頭(28年度実績 66頭)> <受精卵供給率 100%(譲渡個数/譲渡希望個数)(28年度実績 100%)>	○	子牛出荷頭数:66頭(94%) 子牛生産頭数:68頭(97%) 受精卵供給率:100%(100%)
	② 交雑種を飼育し、和牛受精卵の2卵移植により和牛子牛を効率的に生産します。 <28年度導入の交雑種雌牛が生産する和牛子牛の譲渡頭数 15頭(29年度新規)>	○	譲渡頭数:14頭(93%)
	③ 受胎が難しい繁殖雌牛を預かり集中的な繁殖管理で受胎させ、妊娠牛として譲渡(返却)し、農家の生産性向上を支援します。 <不受胎繁殖雌牛受託頭数 30頭(28年度実績 32頭)>	◎	受託頭数:32頭(107%)
5	丹後王国「食のみやこ」を拠点として、丹後の特色を生かした新たな商品の開発や食関連ビジネスを創出します。		
達成手段 (数値目標)	① 丹後の食を活かした異業種交流や6次産業化、ソーシャルビジネスなどの取組を支援します。 <取組支援件数 20件(28年度実績 20件)>	○	支援件数 18件(90.0%)
	② 地域の農林水産物を生かした加工品や丹後王国「食のみやこ」における新商品の開発を支援します。 <丹後王国「食のみやこ」における新たな商品等の開発件数 7件(28年度実績 7件)> <地域の農作物を生かした加工品の試作品支援 5品(28年度実績 5品)>	◎	食のみやこ商品開発 7件(100%) 試作品支援数 5品(100%)
	③ 丹後地域の「食」の魅力発信により丹後観光の拠点化を推進します。 ・食の総合拠点として丹後王国「食のみやこ」の魅力向上 <入園者数 60万人(28年度実績 47.4万人)>	△	入園者数 398,960人(66%) 【未達成の要因・理由】 台風や大雪、荒天によるイベントの中止、閉園(グルメフェスティバル雨天、商工祭一部中止など)のため
	④ 栽培から調理、サービス、加工・販売等までの研修による人材育成を展開します。 <料理開発や加工研修による人材育成 延べ100人(28年度実績 102人)>	◎	育成人数延べ 120人(120%)

運営目標		進捗区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因理由)
6	新たな就農者や漁業就業者を確保するなど、担い手の確保育成や農林水産業の生産基盤を整備します。		
達成手段 (数値目標)	① 学舎生の技能向上・経営力向上への指導と合わせ、就農を見据えた支援を実施します。 ＜地域の農家や農業法人との交流・研修の実施 20回(28年度実績 20回)＞	◎	交流・研修の実施20回(100%)
	② 丹後農業実践型学舎入舎生の営農条件整備を推進します。 ＜入舎生 3名(29年度新規)＞	◎	今年度の入舎生4名(133%) ・入舎生の営農用ほ場の条件整備(土層改良他)を実施
	③ 農業を支える多様な担い手の確保育成と農業法人の担い手育成機能を強化します。 ＜京力農場プラン作成、見直し支援数 20プラン(新規10プラン、見直し10プラン)(29年度新規)＞ ＜新規就農者数 30人(28年度実績 22人)＞ ＜新たな中核的農家の育成 20人(28年度実績 8人)＞ ＜作目、販売先等の就農のイメージを明確に描ける受講者の育成割合 100%(28年度実績 100%)＞ ＜新規就農希望者の研修を行う経営体数 10経営体(28年度実績 8法人)＞ ＜京野菜、飼料米、花き等の売上げが増加する法人 2社(28年度実績 2社)＞	△	プラン数24(新規9、見直し15)(120%) 新規就農者 14人(47%) 新たな中核的農家 7人(35%) 担い手育成講座、育成割合71%(71%) 【未達成の要因・理由】 景気動向等により、新規就農希望者が全府で減少し、丹後実践型学舎の入舎数も減少したため 経営体数 10経営体(100%) 法人2社(100%)
	④ 「海の民学舎」を運営し、実践研修や経営研修を行い、漁業の担い手を育成・確保します。 ＜「海の民学舎」第1期、第2期研修生の漁業、漁村への定着 定着率100%(1期生7人、2期生6人)(29年度新規)＞ ＜漁業経営スキルアップ等研修 2回(29年度新規)＞ ＜新規漁業就業者数 45人(28年度実績 6月集計予定)＞	△	海の民学舎生の定着率(8名/13名)(62%) スキルアップ等研修1回(3月30日)(50%) 【未達成の理由・要因】 海の民学舎生に関しては、病気や家庭の事情、体力面など5名が漁業から離職、新規のスキルアップ等研修は、受講者を慎重に選考したため。 新規漁業就業者数 51名(113%)
	⑤ 地域の特産物の規模を拡大し、担い手を育成します。 ・国営開発農地等での特産物育成 ＜西洋ニンジン、キャベツ等の合計栽培面積 1.5haの増(29年度新規)＞ ＜黒大豆枝豆30a以上の生産者 10戸(28年度実績 10戸)＞	△	西洋ニンジン、キャベツ等の合計栽培面積 3.1haの増(207%) 黒大豆枝豆 30a以上の生産者 8戸(80%) 【未達成の理由・要因】 共同の色彩選別機導入により選別作業の効率化を図るとともに余剰労力を面積拡大に繋げるよう推進を図り、大規模経営体は面積を拡大できたが、30a以下の小規模経営体は経営メリットが小さいため面積拡大まで至らなかった。
	⑥ 茶産地基盤確立に向け、収益性を向上させ、優良茶園化を推進します。 ＜モデル茶園10a当たりの粗収益 500,000円(28年度実績 325,899円)＞	◎	適期刈り取り、製造指導実施 ・モデル茶園10a当たりの粗収益 646,380円(129%)
	⑦ さざえ、アワビ、海藻類等の磯根資源の増大のためのプロジェクトを推進します。 ・新規就業者を含めた潜水漁業のためのモデル漁場の選定 ・磯根資源利用に向けたワークショップの開催 <2回(29年度新規)>	◎	モデル漁場の選定 1ヶ所(宮津市養老地区) 磯根資源利用ワークショップ 2回(9月14日、3月14日)(100%)
	⑧ 丹後王国「食のみやこ」を拠点とした、丹後国営開発農地等で生産される農産物や加工品の新たな流通体系を確立します。 ＜新たな流通先 10ヶ所(うち量販店7ヶ所)(28年度実績 1ヶ所)＞	◎	新たな流通先10カ所(うち量販店2カ所)(100%)

運営目標		進捗区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因理由)
7	平成30年度に野生鳥獣による農産物被害額をほぼ半減(50百万円)します。(平成25年度基準90百万円)		
達成手段 (数値目標)	① 野生鳥獣の被害額を減額します。 <農作物被害額 50百万円以下(28年度実績 45百万円以下)> <防護柵の設置 60km(28年度事業 41km)> <被害対策講習会の開催 4回(29年度新規)> ・ツキノワグマ被害予防等鳥獣被害対策として、目撃情報をSNSを活用し、住民へ周知	◎	農作物被害額 33百万円(151%) 防護柵設置延長 78km(130%) 被害対策講習会開催 6回(150%) Facebookページ5月運用開始(フォロー90、いいね82)
	② 有害鳥獣の安定的な捕獲体制を確保します。 <新規免許取得者 20人(28年度実績 42人)>	◎	新規狩猟免許取得 27人(30件)(135%)
	③ シカ等の生息数削減のための捕獲を推進します。 <狩猟・有害による捕獲頭数 シカ5,500頭(28年度実績 5,000頭)> <捕獲講習会の開催 2回(28年度実績 3回)>	△	シカ捕獲頭数 4,372頭(79%) 【未達成の理由・要因】 堅果類をはじめとする山野の獣のエサ類が豊作で秋以降の出没が減少したため 捕獲講習会 3回(150%)
	④ 農地周辺での広域捕獲を強化します。 <管内の猟友会の連携による一斉捕獲 8回(28年度実績 8回)>	◎	一斉捕獲実施 8回(100%)
8	「丹後半島一周・京都の新海遊ルート」の完成等に向けた整備を推進します。		
達成手段 (数値目標)	① 国道178号等の整備を推進します。 ・改良事業 国道178号蒲入カマヤ工区[事業促進]、木津バイパス[事業促進]、里波見工区(橋梁)[事業促進]、袖志工区[事業促進]、 浜丹後線上野平バイパス[事業促進] ・防災事業 国道178号(由良～脇、日置～里波見、蒲入～袖志)[事業促進]、綾部大江宮津線(小田)[事業促進]	◎	全工区、計画達成(100%) ・蒲入カマヤ工区[事業促進] ・木津バイパス[事業促進] ・里波見工区(橋梁)[事業促進] ・袖志工区[事業促進] ・浜丹後線上野平バイパス[事業促進] ・綾部大江宮津線(小田)[事業促進]
	② 山陰近畿自動車道(京丹後大宮IC)から観光拠点へのアクセス道路の整備を促進します。 ・丹後大宮線丹後弥栄道路 丹後工区[事業促進] ・国道482号(大山地区)[工区完成] ・浜丹後線上野平バイパス、国道178号木津バイパス[事業促進] ・国道312号野中バイパス[事業促進] ・網野峰山線(岩止橋)、掛津峰山線(丹波工区)[事業促進]	◎	全工区、計画達成(100%) ・国道482号(大山地区)[工区完成] ・間人大宮線丹後弥栄道路 丹後工区[事業促進] ・浜丹後線上野平バイパス、国道178号木津バイパス[事業促進] ・国道312号野中バイパス[事業促進] ・網野峰山線(岩止橋)、掛津峰山線(丹波工区)[事業促進]
	③ 丹後縦貫林道沿線の豊かな自然環境を守り、その魅力を活かす取組を推進します。 ・丹後半島を南北に縦貫する丹後縦貫林道リフレッシュ工事の全線完了 ・平成28年度に整備したビューポイント周辺の更なる環境整備 <3箇所(28年度実績 3箇所)> ・指定10周年を迎える「丹後天橋立大江山国定公園」を舞台としたエコツアーの実施	◎	リフレッシュ工事進捗率100%(検査:10/31) ビューポイント 進捗率100%(検査:2/8) 縦貫林道エコツアー開催 進捗率100%(実施:11/4)

運営目標		進捗区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因理由)
9	「丹後・知恵のものづくりパーク」における人材育成と施設の有効活用を推進するとともに、中小企業の経営革新等に向けた取り組みを支援します。		
達成手段 (数値目標)	① 織物、機械金属の技術相談等を通じた在職者の人材育成を実施します。 <延べ5,000人(28年度実績 4,799人)>	○	織物、機械金属の技術相談を通じた在職者の人材育成 延べ合計 4,748人(95%) ・織物関連 延べ 3,114人 ・機械金属関連 延べ 653人 ・化学関連 延べ 922人 ・企画総務関連 延べ 59人
	② 製織・織機調整や最新の高精度三次元測定機や3Dプリンタを活用した各種研修会等を実施します。 <受講者数 延べ3,500人(28年度実績 3,318人)>	○	・各種研修会、講習会等受講者 延べ合計 3,271人(93%) ・織物関連 延べ 861人 ・機械金属関連 延べ 1,252人 ・企画総務関係 延べ 152人 ・経営関係研修等 延べ 1,006人
	③ 機械加工などの技能検定のための受検対策講座を開催します。 <講座理解度 95%以上(28年度実績 90%)>	○	講座理解度 91%(96%) ・講座数 25講座 ・機械製図講習会(LEVEL00)(30人中30人 100%) ・第2回機械製図講習会(LEVEL00)(25人中22人 88%) ・工作機械基礎セミナー(12人中11人 92%) 他
	④ オール丹後体制で、中小企業者の経営課題や企業のニーズに応じ、事業主の立場に立って総合的に経営をサポートします。 <職員応援隊等による経営サポート 200件(28年度実績 191件)>	○	経営サポート件数 186件(93%)
	⑤ 各種支援策を活用して、新たな分野・新事業・新技術に挑戦する中小企業を支援します。 <支援事業採択件数 20件(28年度実績 18件)>	△	支援事業採択件数 11件(55%) 【未達成の要因・理由】 管内の企業についても、「きょうと元気な地域づくり応援ファンド支援事業」などの各種支援制度に積極的にチャレンジしたが、府内全体での競争の中で採択が減になったため

運営目標		進捗区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因理由)
10	「丹後ちりめん創業300年」を見据え、丹後織物・機械金属のブランド力の向上とビジネスモデルを推進します。		
達成手段 (数値目標)	①	創業300年を契機とした地域産業振興を推進します。 ・「丹後ちりめん創業300年事業実行委員会」での地域一体での取組み ＜発信を前提とした海外ブランドデザイナー等とのコラボ 参加事業者数10社(28年度実績 8社)＞ ＜優秀な国内外の学生とのコラボ 参加学生数10人(29年度新規)＞ ・「観光」等他産業と連携した「丹後ちりめん」活用を促進 ＜質の高い「丹後ちりめん製品」の試作・販売 試作数 5品(29年度新規) 販売店舗数 3店舗(29年度新規)＞	○ 海外ブランドデザイナー等とのコラボ参加事業者 8社(80%) 【未達成の要因・原因】 ・コラボ先の希望に応じた生地提供が可能な事業者を選定したため 学生とのコラボ 参加学生数15人(150%) 質の高い「丹後ちりめん製品」の試作数 8品(160%) 販売店舗数 4箇所(133%) ・管内2箇所、管外1箇所、海外1箇所
	②	「京都職人工房・丹後」において、インテリア等を含む丹後織物ブランドの製品開発等を支援します。 ＜支援企業数 40社(28年度実績 39社)＞	◎ 製品開発を支援 40社(100%) ・セミナー、人材育成研修、グループ、個別支援による専門家の商品企画指導
	③	大消費地での展示商談会と百貨店等の常設スペースを活用した販路拡大・展示商談会等を開催します。 ＜展示商談会等 22回(28年度実績 21回)＞	○ 東京、大阪などの大消費地や丹後で展示商談会を開催 20回(91%) (高島屋大阪店、阪急梅田本店、丸池藤井ビル、東京ビッグサイト、三越銀座店などで開催)
	④	丹後地域産業の課題解決のため、異業種分野等と連携して製品開発や販路開拓を推進します。 ＜試作等事業支援件数 8件(28年度実績 8件)＞	◎ 試作等事業支援件数 8件(100%) ・地元企業を中心とした京都・丹後コンポジットプロジェクトにより試作を行っており、技術支援を継続中
	⑤	海外への販路拡大を支援します。 ＜支援企業数 6社(28年度実績 6社)＞	◎ 海外での展示会に向けたものづくり技術支援を実施 6社(100%) ・デザイナーとのマッチング(3社) ・海外での展示会出品に向けた技術支援(3社)

運営目標		進捗区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因理由)
11	U・Iターン等を推進し、丹後地域の産業を担う人材の確保・育成を図ります。		
達成手段 (数値目標)	① 北京都ジョブパーク等と連携し、U・Iターンを促進します。 ・府北部地域へのU・Iターン就業者数 <180人(28年度実績 155人)> ・北京都ジョブパークと連携し、地元高校生の地元就職を推進 <各校の状況把握や就職担当教員との意見交換の開催 1回(29年度新規)>	○	U・Iターン就業者数 161人(90%) 各校就職担当教員との意見交換 1回(100%) (意見書受理)
	② 人材確保に熱意を持って取り組む企業を応援します。 ・企業向け採用活動セミナーの開催 <開催数 5回(29年度新規) 参加事業者数 10事業者(29年度新規)> ・大学・専門学校への売り込み <参加事業者数 延べ15事業者(28年度実績 延べ14事業者)> ・U・Iターン者支援の交流会を開催 <参加者数 200人(28年度実績 157人)>	◎	企業向け採用活動セミナー ・開催数 5回(100%) 参加事業者数 68事業者(680%) 大学等への売り込み 参加事業者数 延べ28事業者(187%) ・大学訪問、大学内企業説明会開催 Uターン者支援の交流会 210名(105%)
	③ 就職面接会や都市部でのフェア等を開催し、就業を支援します。 <参加企業数 延べ700社(28年度実績 675社) 参加者数 1,700人(28年度実績 1,626人)>	○	参加企業数 769社(110%) 参加者数 1,585人(93%)
	④ 管内市町や関係機関と一体となった丹後移住促進協議会(仮称)を立ち上げ、「チーム丹後」として移住促進のためのサポート事業を展開するとともに、北部地域連携都市圏と連携し、移住促進プロジェクトを推進します。 ・移住推進を図る丹後移住促進協議会「チーム丹後」の立ち上げ <移住者ニーズに応じた住まいづくりを支援 25件(28年度実績 20件)> <移住者数 160人(29年度新規)>	△	H29.7.12 「チーム丹後」設立 ・住まいづくり支援 30件(120%) ・移住者数 119人(74%) 【未達成の要因・理由】 移住促進特別区域指定は増加したが、その効果がまだ十分生じなかったこと。
12	世界文化遺産をめざす天橋立や山陰海岸ジオパークなど、丹後ならではの自然環境の保全に努め、学術・観光資源として活用し、その魅力を発信します。		
達成手段 (数値目標)	① 日本ジオパークの再認定に向けた取り組みを推進します。 ・山陰海岸ジオパーク推進協議会と連携したイベントやガイド育成事業の実施 <首都圏、京阪神PRキャンペーン 3回(29年度新規)> <ジオパークガイド外国人対応研修 3回(29年度新規)>	◎	首都圏・京阪神PRキャンペーン 3回(100%) ・東京・京都・兵庫 各1回 ジオパークガイド等外国人対応研修 3回(100%) ・鳥取・兵庫・京都 各1回
	② 天橋立の松並木保全や海岸清掃、阿蘇海のカキ殻回収等住民や学生ボランティアと連携した環境改善活動を推進します。 <天橋立まもり隊、学生ボランティアなどの活動延べ人数 5,500人(28年度実績 4,943人)>	○	活動延べ人数5,332人 (96%)
	③ 漂着ゴミの回収・適正処理を実施し、海水浴場及び海岸地域を保全します。 <実施箇所 45箇所(28年度実績 28箇所)> ・海岸及び河川流域の不法投棄防止パトロールを実施	◎	漂着ゴミの回収、処理等の実施 45箇所(うち、6箇所は、ゴミの漂着がなく監視を実施) (100%) 不法投棄監視指導員による、海岸、河川等の監視パトロールの実施 211回

運営目標		進捗区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因理由)
13	丹後地域の森林を守り育てる取組を推進します。		
達成手段 (数値目標)	① 森林施業の集約化と木材の搬出利用を推進します。 ＜素材生産量(森林組合分) 6,000m ³ (28年度見込み 3,518m ³)＞ ＜森林経営計画等に基づく間伐面積 50ha(28年度実績 28ha)＞	△	素材生産量 約4,696m ³ (78%) 【未達成の要因・理由】 2度の台風による道路災害等の発生による事業進捗の遅れや大幅な計画変更が生じたため。 間伐面積 約48ha(96%)
	② 府内産木材の利用拡大を図ります。 ＜緑の交付金制度を活用した木材使用量 450m ³ (28年度実績 449m ³)＞ ＜府内産木材利用促進会議の開催 2回(28年度実績 2回)＞ ＜府内産木材ストックヤードの活用を推進するため見学会を実施 1回(29年度新規)＞	○	交付金木材使用量 405m ³ (90%) 促進会議開催 2回(100%) ストックヤード見学会(報告会)開催 1回(100%)
	③ 地域の森林を地域全体で支えるモデルフォレスト運動の取組を支援します。 ＜推進地区 8地区(28年度実績 8地区)＞ ＜参加人員 1,000人(28年度 950人)＞	○	推進地区 8箇所(100%) 参加人員 953人(95%)
	④ 地域と協働した海岸林再生を図ります。 ＜整備面積 19ha(28年度実績 18.3ha)＞	○	整備面積 18.6ha(97%) ・予防地上散布 14.0ha、造成管理等 4.6ha

運営目標		進捗区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因理由)
14	地域の防災力を高めるため、人材の養成や避難訓練等を通じて、災害に強い丹後づくりに取り組みます。		
達成手段 (数値目標)	① 平成29年3月に指定された津波警戒区域も踏まえた管内市町の地域防災計画の見直しを積極的に支援します。 ・情報提供や担当者会議等を通じた支援 ・津波の避難体制や要配慮者への避難支援が充実するよう訓練や研修会等を通じた支援 ・原子力災害を想定した住民避難体制の充実等の市町の実施を支援 ・住民避難訓練や意識啓発を高める研修会等	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・出水期前に置ける水害対応訓練のため管内市町、関係機関との連絡会議の開催、訓練実施(6月6日) ・JC主催防災訓練に参加し、福祉避難資機材の展示啓発(7月17日) ・宮津市防災訓練に参加し、マルチハザード情報提供システムの啓発。(8月27日) ・京丹後市防災訓練に参加し、福祉避難資機材の展示啓発(8月27日) ・京都府総合防災訓練に参加(9月3日) ・京都府原子力防災総合訓練における宮津市住民避難訓練への支援(11月12日) ・福祉避難サポートリーダー研修において福祉避難コーナーの啓発(12月1日) ・防災意識を高めるため、京丹後市と共催で地域防災リーダー研修を実施。(12月7日) ・与謝野町防災訓練に参加し、マルチハザード情報提供システムの啓発(3月11日) ・住民の防災意識を高め、「防災チラシ」を新聞折り込み配布
	② 『ふるさとレスキュー』の取組を支援します。 ＜支援地域 9地域(新規1地域、継続8地域)(28年度実績8地域(新規1地域、継続7地域)＞	△	支援地域 8地域(継続地域)(89%) 【未達成の要因・理由】 新規地区について、地区内の協議が整わなかったため。
	③ 住民の防災意識の向上に資するための防災情報の提供を行う取組を推進 ＜小学校等において出前講座を継続的に推進 10回(28年度実績 7回)＞	△	出前講座実施回数 4回(40%) ・10/25 高龍小学校(久美浜町) ・10/26 伊根小学校(伊根町) ・11/21 いさなご小学校(峰山町) ・2/6 市場小学校 【未達成の要因・理由】 台風等に伴う災害対応事務を優先したため。
	④ 河川整備や土砂災害対策等安心安全のまちづくりを推進します。 ・浸水被害が頻発している河川の改修工事を推進 <改修工事実施箇所 3水系6河川> ・土砂災害対策工事を推進(砂防・地すべり事業、急傾斜事業) <事業促進箇所 16箇所> ・災害と雪に強い道路ネットワークを整備し、災害時の避難・救助や物資を安定供給 <事業促進箇所 11工区>	◎	河川改修 3水系6河川(100%) ・福田川、新庄川、竹野川、小西川、加悦奥川、野田川で鋭意工事中 砂防事業等 16箇所(100%) ・堤谷川、シン伏川、里波見、下世屋、六万部、目黒谷川、桃ヶ谷川、イガ口川、平、小浜などで事業推進 道路事業 11工区(100%) ・浜丹後線(上野平BP)、間人大宮線、浜丹後線(宮BP)などで事業推進
	⑤ 建築物の安心・安全を確保します。 ・建築物の安心・安全の確保、大規模地震に備えた住宅の耐震対策の推進 ＜耐震診断 30戸(28年度実績 25戸)> ＜耐震改修(簡易型耐震改修を含む) 15戸(28年度実績 11戸)> ・民間木造住宅等の耐震対策の普及や啓発を目的とし耐震フェアを開催	△	耐震診断 23戸(76.7%) 耐震改修 9戸(60%) H29.9.23 くらしと災害を考えるシンポジウムを開催 (100%) 【未達成の要因・理由】 高齢者世帯が多く、Uターンの可能性も低いことから、耐震診断・改修に積極的でない世帯が多いと推定。

運営目標		進捗区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因理由)
15	府立医科大学附属北部医療センターを「東京都安心医療拠点」とした丹後地域の病院や診療所との機能分化、連携体制の強化を図ります。		
達成手段 (数値目標)	<p>① 次期地域保健医療計画の策定を行います。 ・丹後地域保健医療協議会の開催(課題抽出、目標設定等)</p> <p>② 北部医療センターを核とした病病連携や病診連携、他職種連携の強化を図るため、北部地域医療・介護連携プロジェクトを推進します。 ＜事例検討会の開催 3回(28年度実績 4回)＞ ＜「京あんしんネット」の運用 10件(29年度新規)＞ ＜病院の退院調整等連携フロー図の作成 全6病院(29年度新規)＞</p>	◎	<p>◎ 丹後地域保健医療協議会(丹後地域医療構想調整会議含む)の開催 ・第1回【8月30日】丹後地域の保健医療にかかる課題抽出を中心に協議) ・第2回【10月31日】丹後地域にの課題とその対策について協議) 次期地域保健医療計画策定【3月30日】</p> <p>◎ 事例検討会の開催 3回【7/6、10/16、12/6】(100%) ・北部医療センターとかかりつけ医との連携会議(96名)【7/6】 ・病院と在宅スタッフの交流会(116名)【8/21】 ・北部地域医療・介護連携プロジェクト推進会議の開催【6/13、12/11、3/27】 京あんしんネットの運用開始:4医療機関10件以上(100%) 病院の退院調整等連携フロー図の作成(全6病院作成)(100%) ・地域在宅関係者への説明会 5回 ・医療と介護の連携推進研修会 1回(3/19)</p>
16	「たんご健康長寿日本一」を推進します		
達成手段 (数値目標)	<p>① 企業や団体の健康経営の取組を支援します。 ＜訪問事業所数 120事業所(28年度実績 112事業所)＞ ＜きょうと健康づくり実践企業認証制度の認証 17事業所(28年度実績 16事業所)＞ ＜健康づくりの機運アップのイベント、講演会の開催 2回＞ ＜メールによる健康づくりに関する情報発信 延べ1,500社(29年度新規)＞ ＜カラダ学べる社員食堂の取組＞</p> <p>② がん対策の取組を推進します。 ＜がん検診の啓発及び精検受診働きかけ 120事業所(28年度実績 112事業所)＞ ＜高校生対象のピロリ菌検査の実施＞ ＜企業健診会場におけるがん検診受診啓発 4回(29年度新規)＞</p> <p>③ 健康寿命の延伸をめざし、健康づくり事業の取組を推進します。 ＜産学公連携プラットフォーム事業の取組支援 3件(28年度実績 3件)＞ ＜健康満丹リーダーフォロー研修 2回(29年度新規)＞</p>	◎ ◎ △	<p>◎ 訪問事業所数 123事業所(103%) きょうと健康づくり実践企業認証制度の認証 17事業所(100%) 健康づくり機運アップのイベント、講演会 2回(100%) 【7月6日 9月24日】 メールによる健康づくりに関する情報発信 延べ 1,500社(100%) カラダ学べる社員食堂 1事業所</p> <p>◎ がん検診の啓発及び精検受診働きかけ 125事業所(104%) 高校生対象のピロリ菌検査 1校 企業検診会場におけるがん検診受診啓発 4回(100%)</p> <p>△ 産学公連携プラットフォーム事業取組支援 1件(33%) 【未達成の要因・理由】 予算措置がかなわず、単独事業として実施したため。 健康満丹リーダーフォロー研修 2回(100%)</p>

運営目標		進捗区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因理由)
17	高齢者が安心して地域で生活できる地域包括ケア体制の充実・強化を図ります。		
達成手段 (数値目標)	① 「認知症疾患医療センター(北部医療センター)」と連携し、認知症対策を推進します。 ・府民向けの普及、啓発の実施 ＜オレンジロードつなげ隊による周知啓発活動 25回(28年度実績 23回)＞ ・認知症高齢者を支える人材の育成 ＜認知症サポーターの養成 2,200人(28年度実績 2,464人)＞ ・認知症の方とその家族を支える地域づくりの推進 ＜若年性認知症交流会の実施 3回(28年度実績 3回)＞ ＜認知症初期集中支援チームの設置 4市町(28年度実績 2市)＞ ・広域SOSネットワーク訓練の実施(29年度新規)	○	オレンジロードつなげ隊による周知啓発 26回 2,187名(104%) ＜13名増の計70名の体制で随時実施＞ 認知症サポーターの養成 1,995人(91%) ・若年性認知症交流相談会の実施 3回(100%) ・本人ミーティング 2回 7/5,8/23) ・若年性認知症交流会 1回 10/30) ・事例検討会 3回(6/22、12/22、1/15) 認知症初期集中支援チームの設置 4市町(100%) SOSネットワーク訓練 2回(京丹後市11/13、伊根町11/27)
	② 多職種協働による在宅医療・介護サービスの充実強化と看取り対策の推進を行います。 ＜看取りに関するシンポジウム、研修会の開催 4回(29年度新規)＞ ＜多職種連携による事例検討会等の開催 3回(28年度実績 4回)＞	◎	看取りに関するシンポジウム、研修会 9回(225%) ・宮津市在宅医療介護シンポジウム 1回 ・伊根町 在宅療養にかかる住民研修会 4回 ・伊根町 在宅看取り家族交流会 1回 ・京丹後市在宅医療・介護連携推進事業 「わが家で さいごまで 自分らしく」を語り考える懇談会 3回) 検討会と看取りケアカフェ開催等による看取り対応力の向上 4回(133%) ・看取り期における家族支援に係る検討会 3回(6/9、8/4、12/11)) ・看取りケアカフェ 65名(11/11)
	③ 地域リハビリテーション支援センターと連携し、リハビリ支援を通じて介護予防の取組を推進します。 ・高齢者サロン等への出張リハビリ講座の実施 <60回(28年度実績 58回)> ・地域包括ケアに携わる多職種協働のイベント「お気軽サミットin丹後」の開催	◎	出張リハビリ講座 60回(100%) 地域包括ケア実践交流会「お気軽サミットin丹後」開催 11/28 170名 ・企画運営会議 2回(8/31、9/25)
	④ 介護保険制度の改正に伴う市町の新しい地域支援事業等の円滑な移行への支援を行います。 ＜総合事業に係る圏域連絡会の開催 2回(29年度新規)＞	◎	圏域連絡会 2回(100%) ・圏域生活支援コーディネーター連絡会 8月31日 ・さわやか福祉財団を交えて情報交換、意見交流 ・生活支援コーディネーター勉強会 12月21日 ・市町ヒアリング8月3、4日
	⑤ 地域包括ケアの基盤整備と人材確保を支援・京都府北部福祉人材養成システムや福祉人材認証育成制度等による福祉人材の確保と定着支援を実施します。 ・就業者数 <135人 (28年実績 127人)> ・宮津総合実習センターの供用開始 ・介護職イメージアップ事業の展開(啓発ツール作成、PR) <関係機関との連携による大学、専門学校等へのPR 3校(29年度新規)>	○	就業者数133名(99%) 宮津実習センター マ・ルート完成 9/1 介護職イメージアップ事業の展開 ＜ワーキング会議の開催 4回 11法人 18人参加＞ ＜介護職イメージアップ写真集「THE SEASONS」発行＞ 大学等へのPR 0校(0%) 【未達成の要因・理由】 啓発ツールの完成が年度末となったため。

運営目標		進捗区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因理由)
18	地域ぐるみの少子化対策を推進し、安心して子育てができる地域づくりを進めます。		
	達成手段 (数値目標)	<p>① 行政をはじめ関係機関とのネットワークによる結婚や子育てを応援する気運を醸成します。 ・「丹後地域府民会議」の開催 <丹後地域府民会議 構成団体数 55団体(29年度新規)></p> <p>② 各市町の子育て世代包括支援センター事業の充実支援します。 ・支援センター及び産前産後支援員等との連絡会の開催 <2回(29年度新規)></p>	<p>○ ○ 丹後地域府民会議構成団体数50団体(91%) 府民会議の開催は、内容が詰め切れずに見送り。 府民会議通信をメール発信(2月23日)</p> <p>◎ ・子育て世代包括支援センター保健師等を対象に研修会、意見交換を実施 2回(7/24、7/25)(100%)</p>
19	誰もが自分らしく生きられる共生社会づくりを推進します。		
	達成手段 (数値目標)	<p>① 関係団体、市町と連携し、障害者の就労と定着を支援します。 <圏域の新規就職者数 30人(28年度実績 27人)></p> <p>② 障害者の工賃アップを図るため、企業や大学とのコラボによる新商品開発と販路開拓を支援します。 <新商品の開発 15品目(28年度実績 14品目)></p> <p>③ 自殺者ゼロを目指した取組の推進を実施します。 <職域や地域のメンタルヘルスの取組を支援 15団体(28年度実績 10団体)> <市町と連携したうつスクリーニングの実施 10回(28年度実績 9回)> <地域のサロン等を活用した居場所の提供 1箇所(28年度実績 0箇所)></p> <p>④ 多様な団体との交流を通じて、女性の活躍の場を創出します。 ・輝く女性応援京都会議(地域会議)の設立</p>	<p>△ 新規就職人数24人(80%) ・職業準備訓練・職場実習斡旋件 31件 ・定着支援 (職場訪問定着支援479件) 【未達成の要因・理由】 景気動向が大きく上向くことを見込んで目標値を設定したが、障害者雇用には結びつかなかった。</p> <p>◎ 新商品開発品目 40品(267%) 既存製品のブラッシュアップ研修会を実施(計3回)</p> <p>○ 職域のメンタルヘルスの取組支援 17団体(113%) (受講者889人) うつスクリーニングの実施 8回(90%) 居場所の提供 1箇所(100%) (京丹後市内に設置)</p> <p>◎ 輝く女性応援京都会議(丹後地域会議)を設立・開催</p>
	達成手段 (数値目標)	<p>① 家畜伝染病発生予防対策を徹底します。 ・飼養衛生管理状況の点検・指導 <牛2回、羊・山羊、豚1回(28年度実績各2回)、養鶏(千羽以上)4回(28年度実績4回)、養鶏(自家用)1回(28年度実績1回)> ・鳥インフルエンザ侵入監視 <鳥インフルエンザウイルス検査3農場を対象に毎月実施(28年度実績 12回)></p> <p>② 家畜伝染病防疫体制を確保します。 <総合的な実地演習の実施 1回(28年度実績1回)> <正しい知識の普及・啓発のために出前語らいを実施 2回(28年度実績 2回)></p>	<p>◎ ◎ 飼養衛生管理基準の点検・指導 ・牛2回以上実施。羊・山羊・豚1回実施。養鶏(千羽以上)4回以上実施、養 鶏(自家用)1回実施。(100%) 鳥インフルエンザウイルス検査3農場を対象に12回実施(100%)</p> <p>◎ ◎ 総合的な実地演習の実施(100%) (H29.10.27実施) 出前語らい実施 2回(100%) (H29.10.15及びH30.3.31実施)</p>
	達成手段 (数値目標)	<p>① 家畜伝染病発生予防対策を徹底します。 ・飼養衛生管理状況の点検・指導 <牛2回、羊・山羊、豚1回(28年度実績各2回)、養鶏(千羽以上)4回(28年度実績4回)、養鶏(自家用)1回(28年度実績1回)> ・鳥インフルエンザ侵入監視 <鳥インフルエンザウイルス検査3農場を対象に毎月実施(28年度実績 12回)></p> <p>② 家畜伝染病防疫体制を確保します。 <総合的な実地演習の実施 1回(28年度実績1回)> <正しい知識の普及・啓発のために出前語らいを実施 2回(28年度実績 2回)></p>	<p>◎ ◎ 飼養衛生管理基準の点検・指導 ・牛2回以上実施。羊・山羊・豚1回実施。養鶏(千羽以上)4回以上実施、養 鶏(自家用)1回実施。(100%) 鳥インフルエンザウイルス検査3農場を対象に12回実施(100%)</p> <p>◎ ◎ 総合的な実地演習の実施(100%) (H29.10.27実施) 出前語らい実施 2回(100%) (H29.10.15及びH30.3.31実施)</p>
20	鳥インフルエンザ、口蹄疫等の海外悪性伝染病の発生ゼロを目指します。		
	達成手段 (数値目標)	<p>① 家畜伝染病発生予防対策を徹底します。 ・飼養衛生管理状況の点検・指導 <牛2回、羊・山羊、豚1回(28年度実績各2回)、養鶏(千羽以上)4回(28年度実績4回)、養鶏(自家用)1回(28年度実績1回)> ・鳥インフルエンザ侵入監視 <鳥インフルエンザウイルス検査3農場を対象に毎月実施(28年度実績 12回)></p> <p>② 家畜伝染病防疫体制を確保します。 <総合的な実地演習の実施 1回(28年度実績1回)> <正しい知識の普及・啓発のために出前語らいを実施 2回(28年度実績 2回)></p>	<p>◎ ◎ 飼養衛生管理基準の点検・指導 ・牛2回以上実施。羊・山羊・豚1回実施。養鶏(千羽以上)4回以上実施、養 鶏(自家用)1回実施。(100%) 鳥インフルエンザウイルス検査3農場を対象に12回実施(100%)</p> <p>◎ ◎ 総合的な実地演習の実施(100%) (H29.10.27実施) 出前語らい実施 2回(100%) (H29.10.15及びH30.3.31実施)</p>

運営目標		進捗区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因理由)
21	Xバンドレーダーの配置に関して、地域住民の安心・安全の確保に向けて関係機関と連携して課題の解決に取り組みます。		
達成手段 (数値目標)	① 地域交通の安心・安全を確保するため、道路整備を推進します。 ・浜丹後線(上野平バイパス、蒲入カマヤ工区、袖志工区)(再掲) ・間人大宮線(丹後弥栄道路 丹後工区)[事業促進](再掲) ・浜丹後線(宮バイパス)[事業促進] ・国道482号大山地区[工区完成](再掲)	◎	◎ 全工区、計画達成(100%) ・浜丹後線(上野平バイパス、蒲入カマヤ工区、袖志工区)[事業促進] ・間人大宮線(丹後弥栄道路 丹後工区)[事業促進] ・浜丹後線(宮バイパス)[事業促進] ・国道482号(大山地区)[工区完成]
	② 地元区長等と情報交換を行うなど住民の意向を把握し、安心・安全対策連絡会等を通じて、京丹後市と共同して米軍・国が適切な対応を行うよう働きかけを行います。		◎ ・基地安心安全連絡会(4回開催)を通じて、騒音対策、交通事故防止対策等について確認と要請実施((6月、8月、11月、3月) ・定期的に基地周辺等を巡回するとともに、防衛局、京丹後市、警察署との連絡調整を実施 ・基地周辺の袖志区、尾和区の区長から地域の意向を聞き取り(4~3月間の訪問他随時実施)、関係機関と要望等を共有
22	若者の丹後地域への愛着心を醸成する「TOMORROW丹後プロジェクト」の推進により、丹後が誇る文化を次代へつなぎます。		
達成手段 (数値目標)	① 食と文化を一堂に集めるイベント等で次代を担う若者の丹後への愛着心を醸成する「TOMORROW丹後プロジェクト」を推進します。 ・食の祭典「丹後グルメフェスティバル(東京・京丹後市)」を開催(再掲) ＜丹後王国「食のみやこ」来場者数 50,000人(28年度実績 33,650人)＞	△	△ 食の祭典「丹後グルメフェスティバル(東京・京丹後市)」を開催 ・丹後王国「食のみやこ」来場者数 9,539人(19.1%) 【未達成の要因・理由】 グルメフェスティバル開催日は、雨天により目標を達成できなかった。
	② 小、中、高校生が、丹後の多様な魅力について学び、発表会やガイドなどを体験する機会を提供します。 ・「TANGO魅力伝え隊」実施校 <10校(28年度実績 9校)> ・学習の成果及び活動状況等をまとめた冊子の発行配付		○ 実施校(9校)(90%) ・宮津市立吉津小学校、宮津市立養老小学校、京丹後市立橋小学校、伊根町立伊根小学校、与謝野町立与謝小学校、府立宮津高等学校、加悦谷高等学校、網野高等学校、久美浜高等学校 ・11/11(土)民話等語り部、11/19(日)古典の日推進事業での発表 「丹後ふるさと自慢草紙」第三集の発行配付(100%)
	③ 丹後にゆかりのある著名人やグローバルに活躍されている方々などによる講演会や体験教室を実施します。 ・「丹後の子どもドリームプロジェクト」の開催 <2回 (28年度実績 1回)>		△ 講演会開催(1回)(50%) 12/25(月) 講師:大阪ガス 朝原 宣治様 (北京オリンピックメダリスト) 【未達成の要因・理由】 1回目の開催を台風により延期したため、2回目が開催できなかった。
	④ 小、中学生が郷土学習を行う際に体験的なまなびが深められるよう、丹後郷土資料館との連携による学習プログラムを作成します。 ・丹後の郷土学習プログラムの作成及び小中学校への配付		◎ 「学びのガイドブック」の作成配付(100%)

運営目標		進捗区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因理由)
23	命の里の再生とふるさと保全・農村再生活動など、地域活動団体をはじめとする住民との協働体制を推進します。		
達成手段 (数値目標)	① 地域ぐるみで農村漁村地域の生産基盤や環境を守る活動を推進します。 <多面的機能支払の取組面積 4,300ha (28年度実績 4,323ha)>	○	多面的機能支払の取組面積 4,136ha(96%)
	② 里の公共員の配置により地域の課題解決を支援します。 <里の公共員の配置 3地区 (28年度実績 3地区)>	◎	里の公共員の配置 3地区(H30.1.31現在)(100%)
	③ 「里の仕事人」が伴走支援する「命の里」農山漁村里力再生事業の取組により、地域住民の所得を確保するための新商品開発をはじめとするビジネスおこしを支援します。 <スモールビジネスの取組地区 新規3地区(29年度新規)>	◎	スモールビジネス取組地区(4地区)(133%) ・農業ビジネス応援隊の派遣(世屋、日ヶ谷) ・軽トラ朝市の開催【H29新規】(三重・森本) ・獣肉解体処理施設の整備(世屋) ・農産物販売所の整備(養老)
	④ 市町や関係機関と一体となった丹後移住促進協議会(仮称)を立ち上げ、「チーム丹後」として移住促進のためのサポート事業を展開します。(再掲) ・移住推進を図る丹後移住促進協議会「チーム丹後」の立ち上げ <移住者ニーズに応じた住まいづくりを支援 25件(28年度実績 20件)> <移住者数 160人(29年度新規)>	△	H29.7.12 「チーム丹後」設立 ・住まいづくり支援 29件(H30.2.28現在)(116%) ・移住者数 107人(H30.2.28現在)(67%) 【未達成の要因・理由】 移住促進特別区域指定は増加しているが効果が十分生じていないため
	⑤ 協働コーディネーターや地域力再生支援事業を通じて地域力再生団体を育成します。 <支援団体数 延べ230団体(28年度実績(2月末現在)211団体)>	◎	支援団体数 265団体(115%)

運営目標		進捗区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因理由)
24	市町や関係機関と連携した地域住民の活動支援等により、より利用しやすい公共交通ネットワークの実現をめざすととも丹鉄年間利用者数200万人を目指します。		
達成手段 (数値目標)	① 駅舎トイレ改修、駅周辺の環境美化などへの支援と鉄道ファンを対象としたイベントを実施します。 ＜魅力ある駅舎づくりや鉄道ファンイベント実施等の支援 20事業(28年度実績 18事業)＞	△	<ul style="list-style-type: none"> 駅舎づくり等支援数 18事業(90%) ・丹後由良駅駅舎・久美浜駅周辺改修(駅再生プロジェクト) ・丹後由良駅での除草ヤギ飼育 ・イベント列車「ぐるっと北近畿」の運行(計5回運行) ・「近畿のキタだよ、北近畿！」キャンペーン キックオフイベント(5/13)、「北近畿の秋祭り」(10/28) ・京都駅ビル開業20周年記念『鉄道パラダイス集まれ鉄道FUN』『近畿のキタだよ、北近畿！』PRステージ(6/18) ・中国人インフルエンサーKOLを招いた観光プロモーションの実施(10/4～7) ・天王寺公園への出展(10/15) ・日本遺産認定記念シンポジウムで丹鉄利用促進PR(10/28)
	② 沿線住民への丹鉄利用啓発と丹鉄発着時刻と連動した会議時刻の設定を呼びかけなどにより利用促進を図ります。 ・局広報誌等による利用啓発やEメールにより職員の積極利用を喚起 JR西日本、ウイラー社、兵庫県但馬県民局、中丹・丹後広域振興局が連携した広域周遊コースの設定(再掲) ＜坂東玉三郎観劇ツアーなどJRと丹鉄列車が連結したイベント列車の運行 6回(29年度新規)＞(再掲) ＜京都丹後鉄道利用者数 200万人(28年度実績 181万人)＞	△	<ul style="list-style-type: none"> 毎月1回、管内職員向け、利用促進PR JR西日本等と連携した広域周遊コースの設定【再掲】 ＜イベント列車の運行 5回(1回中止)＞(83%) 【未達成の要因・理由】 想定していたターゲット層への周知不足 京都丹後鉄道利用者数178万人(89%) ※ WEST RAIL PASS(訪日外国人向けのエリアパス)利用者を除く 【未達成の要因・理由】 台風による被害や大雪などにより運行できない日が多く発生したため

目標達成状況(達成区分)	件数	割合
目標達成「◎」(達成手段のすべてが◎)	4	17%
概ね達成「○」(達成手段の◎が2/3以上)	15	63%
未達成「△」(達成手段の◎が2/3未満)	5	21%
計(運営目標数)	24	

【達成手段(数値目標)の達成区分】
「◎」…目標達成・上回って進捗(達成率100%以上)
「○」…概ね達成(達成率90%～100%未満)
「△」…未達成(達成率90%未満)